

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「パインブリッジ・キャピタル証券ファンド（為替ヘッジなし）／（為替ヘッジあり）」はこのたび第15期の決算を行いました。当ファンドは主として世界の金融機関が発行するキャピタル証券（CoCo債、劣後債・優先証券等）を実質的な主要投資対象とし、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。また、（為替ヘッジなし）は、原則として為替ヘッジを行いません。（為替ヘッジあり）は、実質組入れの外貨建て資産について原則として為替のヘッジを行います。当作成対象期間もこれに沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当作成期の状況

（為替ヘッジなし）

基準価額（当作成期末）	9,629円
純資産総額（当作成期末）	1,473百万円
騰落率（当作成期）	1.7%
分配金合計（当作成期）	200円

（為替ヘッジあり）

基準価額（当作成期末）	10,215円
純資産総額（当作成期末）	3,307百万円
騰落率（当作成期）	4.6%
分配金合計（当作成期）	200円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「基準価額一覧」または「ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書（全体版）をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

交付運用報告書

パインブリッジ・ キャピタル証券 ファンド （為替ヘッジなし）／（為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／その他資産
（ハイブリッド証券）

第8作成期

（2019年2月19日～2019年8月16日）

第14期（決算日：2019年5月16日）

第15期（決算日：2019年8月16日）



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

電話番号／03-5208-5858

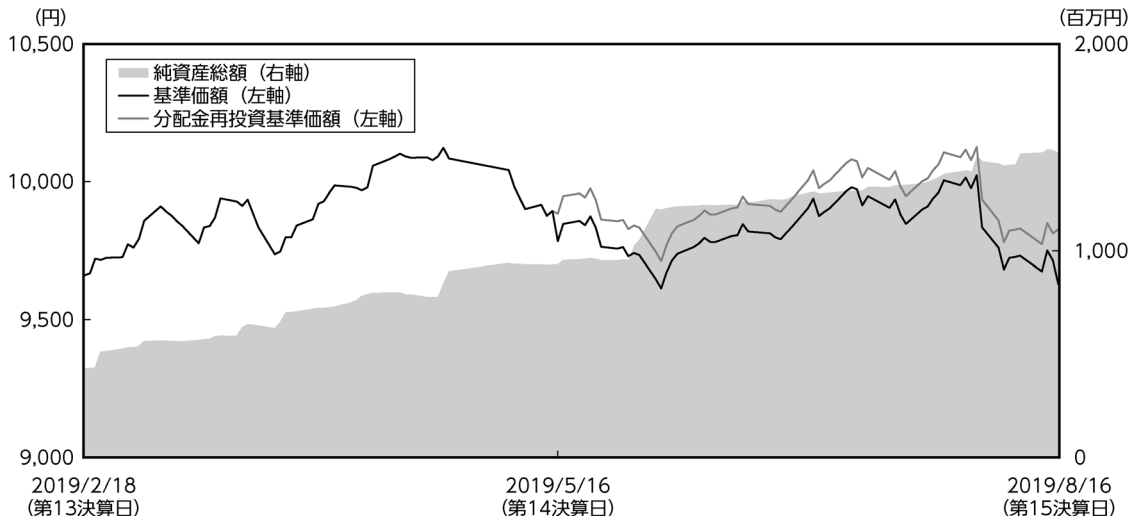
（受付時間／9：00～17：00（土、日、祝休日を除く））

ホームページ／<https://www.pinebridge.co.jp/>

運用経過 (2019年2月19日～2019年8月16日)

基準価額等の推移

<為替ヘッジなし>



第14期首 : 9,662円

第15期末 : 9,629円

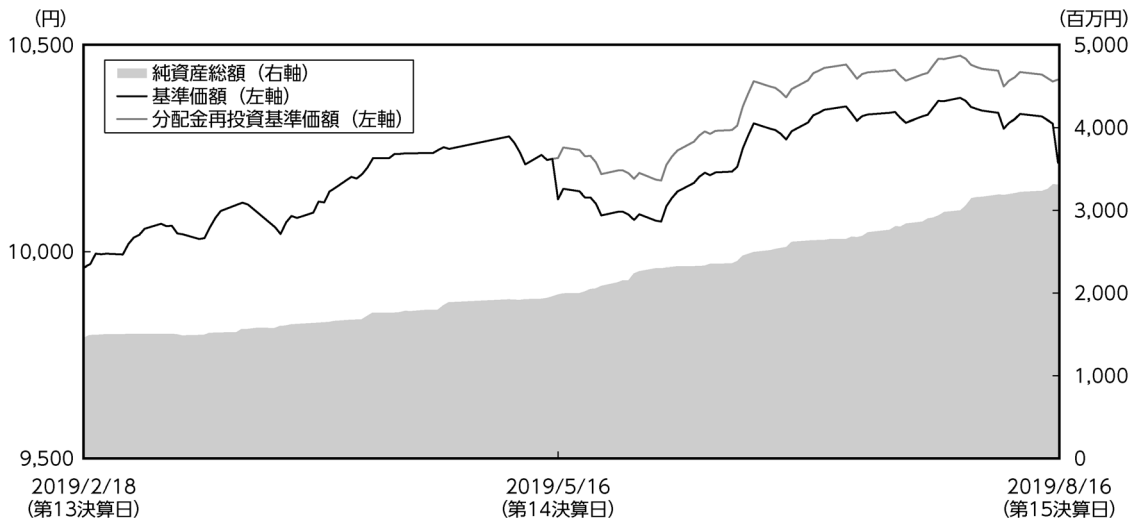
(作成対象期間中の既払分配金 : 200円)

騰落率 : 1.7% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

※分配金を再投資するかどうかにについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

<為替ヘッジあり>



第14期首： 9,963円
 第15期末： 10,215円
 (作成対象期間中の既払分配金：200円)
 騰落率： 4.6% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。
 ※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

<為替ヘッジなし>

当ファンドの投資対象である「パインブリッジ・キャピタル証券マザーファンド」保有のキャピタル証券の価格が上昇したことに加え、保有キャピタル証券のインカム収入を得られたことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。一方で、為替市場で円が米国ドルに対して上昇したことはマイナス要因となりました。

<為替ヘッジあり>

当ファンドの投資対象である「パインブリッジ・キャピタル証券マザーファンド」保有のキャピタル証券の価格が上昇したことに加え、保有キャピタル証券のインカム収入を得られたことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

<マザーファンド>

当ファンド保有キャピタル証券の価格が上昇したことに加え、保有キャピタル証券のインカム収入を得られたことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。一方で、為替市場で円が米国ドルに対して上昇したことはマイナス要因となりました。

1万口当たりの費用明細

<為替ヘッジなし>

項 目	第14期～第15期 (2019.2.19～2019.8.16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	70円	0.704%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,877円です。
(投信会社)	(31)	(0.318)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(37)	(0.371)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 (キャピタル証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)	0.010 (0.010) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
合 計	71円	0.714%	

<為替ヘッジあり>

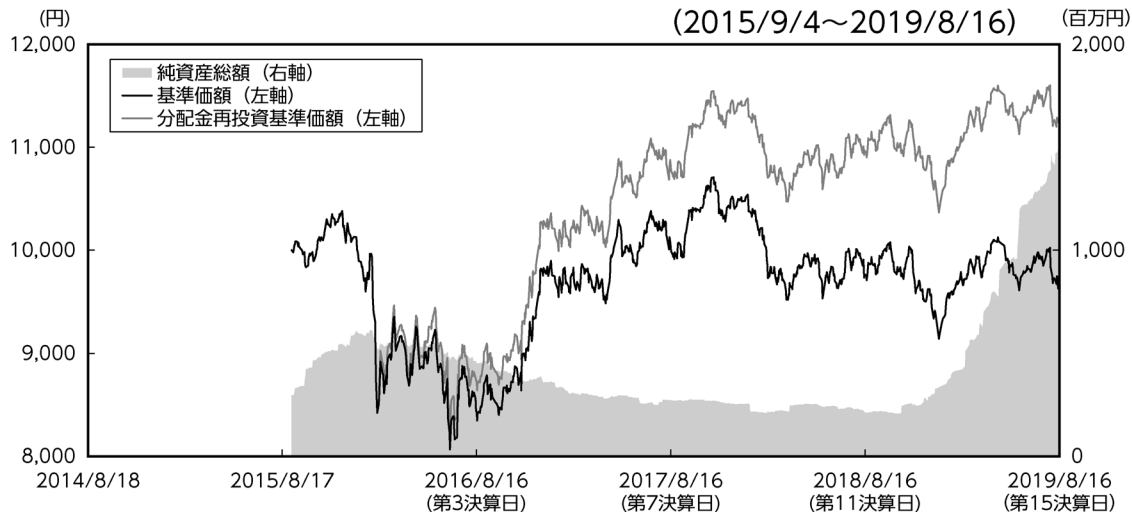
項 目	第14期～第15期 (2019.2.19～2019.8.16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	72円	0.704%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,184円です。
(投信会社)	(32)	(0.318)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(38)	(0.371)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 (キャピタル証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)	0.011 (0.010) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
合 計	73円	0.715%	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移

<為替ヘッジなし>



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

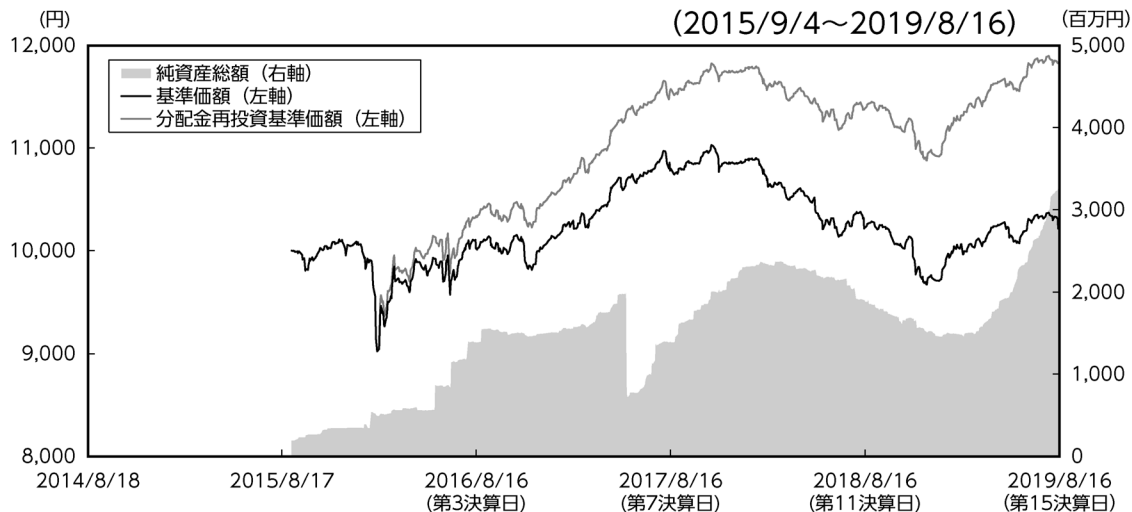
※当ファンドは、適切に比較できる指数がないため、ベンチマーク等はありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

			2016/8/16 決算日	2017/8/16 決算日	2018/8/16 決算日	2019/8/16 決算日
基準価額	(円)		8,446	10,085	9,735	9,629
期間分配金合計（税込み）	(円)		300	400	400	400
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)		△12.6	24.4	0.5	3.0
純資産総額	(百万円)		452	272	210	1,473

※2016/8/16決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

<為替ヘッジあり>



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、適切に比較できる指数がないため、ベンチマーク等はありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

			2016/8/16 決算日	2017/8/16 決算日	2018/8/16 決算日	2019/8/16 決算日
基準価額	(円)		10,019	10,781	10,217	10,215
期間分配金合計（税込み）	(円)		300	400	400	400
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)		3.4	11.8	△1.6	4.0
純資産総額	(百万円)		1,376	1,385	1,881	3,307

※2016/8/16決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

投資環境について

当作成期のキャピタル証券市場は、作成期を通じて上昇基調で推移しました。作成期首から米国の利上げ打ち止め観測を受け先進国の長期金利が低下しました。その後も、米国の年内利下げ観測の高まりや欧州などの追加緩和策への期待感などから米国をはじめ先進国の長期金利は低下基調が継続したことが好感されました。更に、米中貿易摩擦の激化観測が高まる段階で一時的に信用スプレッド（国債への上乗せ金利）が拡大する場面も見られましたが、作成期を通してみると信用スプレッドが低下したこともプラス材料となりました。

為替市場では、円は米国ドルに対して上昇しました。作成期首から4月まではほぼ横ばいでの推移となりましたが、5月以降は、米国の保護主義的な通商政策への警戒感や米国の利下げ観測の高まりに伴う米国長期金利低下により日米金利差が縮小したこと、更に8月に入ると、米中貿易摩擦の激化懸念などを背景に市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから円高米国ドル安が進行しました。

ポートフォリオについて

<為替ヘッジなし>

作成期中を通じて「パインブリッジ・キャピタル証券マザーファンド」への投資比率を高位に維持しました。

<為替ヘッジあり>

作成期中を通じて「パインブリッジ・キャピタル証券マザーファンド」への投資比率を高位に維持しました。また、実質組入れ外貨建て資産について対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

<マザーファンド>

主として世界の金融機関が発行するキャピタル証券（CoCo債・劣後債・優先証券など）に投資を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ベンチマーク等はありません。

分配金について

<為替ヘッジなし>

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第14期、第15期それぞれ100円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

●分配原資の内訳

（単位：円・%、1万口当たり、税引前）

項 目	第14期	第15期
	2019年2月19日～2019年5月16日	2019年5月17日～2019年8月16日
当期分配金	100	100
（対基準価額比率）	1.012	1.028
当期の収益	79	59
当期の収益以外	20	40
翌期繰越分配対象額	508	477

<為替ヘッジあり>

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第14期、第15期それぞれ100円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

●分配原資の内訳

（単位：円・%、1万口当たり、税引前）

項 目	第14期	第15期
	2019年2月19日～2019年5月16日	2019年5月17日～2019年8月16日
当期分配金	100	100
（対基準価額比率）	0.978	0.969
当期の収益	100	72
当期の収益以外	-	27
翌期繰越分配対象額	1,041	1,027

※「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」と「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から、それぞれ当期の分配に充当した額の合計を表示しています。なお、「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の市況見通しと運用方針

今後の市況見通し

8月に入り、米国が対中追加関税第4弾の9月発動を表明したことから、一段の米中貿易摩擦激化が懸念されます。しばらくはリスク回避的な動きが継続する可能性があるほか、世界的な景気減速への警戒感も高まっています。しかし、中国では2019年のGDP6%台を維持するためにあらゆる手段を行使することが想定されるほか、米国ではFRB（米連邦準備制度理事会）が追加利下げに動くと思われることから、世界経済の失速には至らないと考えます。今後も主要国での低金利環境は継続するとみており、相対的に金利の高いキャピタル証券は魅力的です。また、新しい自己資本比率規制の段階的な導入により金融機関の財務健全性の向上が期待されること、信用リスクが限定的な債券に対する投資家ニーズは根強いことも引き続きキャピタル証券のサポート要因になると思われます。

運用方針

<為替ヘッジなし>

「パインブリッジ・キャピタル証券マザーファンド」への投資を通じて、主として世界の金融機関が発行するキャピタル証券を実質的な主要投資対象とし、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益の確保を図りつつ、信託財産の着実な成長を目指します。

<為替ヘッジあり>

「パインブリッジ・キャピタル証券マザーファンド」への投資を通じて、主として世界の金融機関が発行するキャピタル証券を実質的な主要投資対象とし、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益の確保を図りつつ、信託財産の着実な成長を目指します。また、実質組入れ外貨建て資産の対円での為替変動リスクについては原則として為替ヘッジを行います。

<マザーファンド>

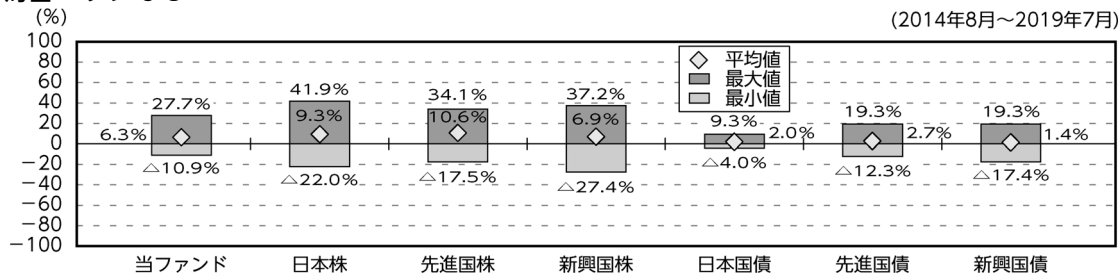
主として世界の金融機関が発行するキャピタル証券に投資を行い、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益の確保を図りつつ、信託財産の着実な成長を目指します。

当ファンドの概要

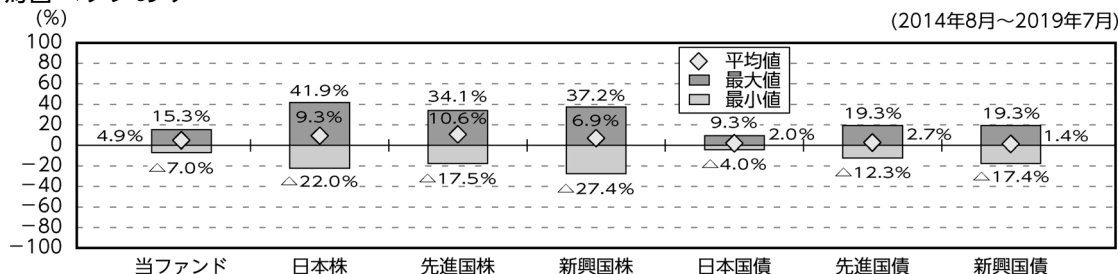
商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	2015年9月4日から2022年7月29日まで	
運用方針	<為替ヘッジなし>	<ul style="list-style-type: none"> ・パインブリッジ・キャピタル証券マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、主として世界の金融機関が発行するキャピタル証券（CoCo債、劣後債・優先証券等）に投資を行います。 ・マザーファンドの運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー（PineBridge Investments LLC）に外貨建て資産の運用に関する権限を委託します。 ・実質組入れの外貨建て資産については、原則として為替のヘッジを行いません。
	<為替ヘッジあり>	<ul style="list-style-type: none"> ・マザーファンドへの投資を通じて、主として世界の金融機関が発行するキャピタル証券に投資を行います。 ・マザーファンドの運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー（PineBridge Investments LLC）に外貨建て資産の運用に関する権限を委託します。 ・実質組入れの外貨建て資産については、為替変動リスクを低減するため、原則として為替のヘッジを行います。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・主として世界の金融機関が発行するキャピタル証券に投資を行います。 ・運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー（PineBridge Investments LLC）に外貨建て資産の運用に関する権限を委託します。 ・外貨建て資産については、原則として為替のヘッジを行いません。
主要投資対象	<為替ヘッジなし>	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	<為替ヘッジあり>	
	マザーファンド	
運用方法	<為替ヘッジなし>	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。
	<為替ヘッジあり>	・外貨建て資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年2、5、8、11月の各16日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

<参考情報> 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

<為替ヘッジなし>



<為替ヘッジあり>



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2014年8月～2019年7月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドは2015年9月4日設定のため、2016年9月から2019年7月までの平均値・最大値・最小値を表示しています。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX） 配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数（TOPIX）配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属しています。また、野村証券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2019年8月16日現在)

<為替ヘッジなし>

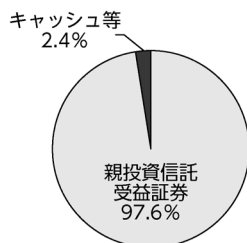
●組入銘柄

(組入銘柄数：1銘柄)

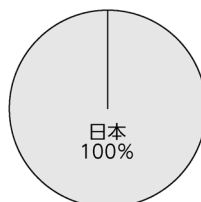
銘柄名	比率(%)
パインブリッジ・キャピタル証券マザーファンド	97.6

※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

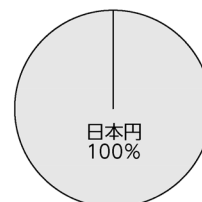
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第14期末	第15期末
	2019年5月16日	2019年8月16日
純資産総額	934,610,761円	1,473,449,672円
受益権総口数	955,155,737口	1,530,253,587口
1万口当たり基準価額	9,785円	9,629円

※当作成期間（第14期～第15期）中における追加設定元本額は1,123,729,434円、解約元本額は39,584,848円です。

<為替ヘッジあり>

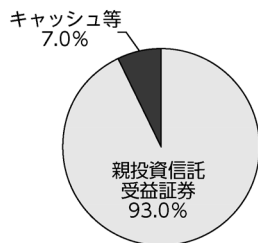
●組入銘柄

（組入銘柄数：1銘柄）

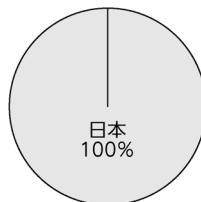
銘柄名	比率(%)
パインブリッジ・キャピタル証券マザーファンド	93.0

※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

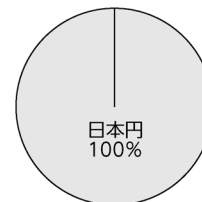
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

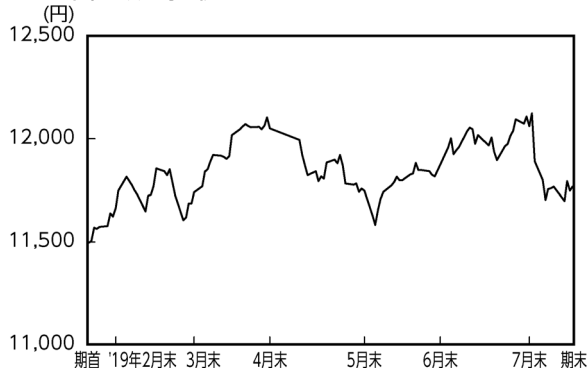
項目	第14期末	第15期末
	2019年5月16日	2019年8月16日
純資産総額	1,981,599,677円	3,307,882,926円
受益権総口数	1,956,779,382口	3,238,399,520口
1万口当たり基準価額	10,127円	10,215円

※当作成期間（第14期～第15期）中における追加設定元本額は1,993,760,620円、解約元本額は218,511,082円です。

組入ファンドの概要

パインブリッジ・キャピタル証券マザーファンドの組入資産の内容（2019年8月16日現在）

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料 (キャピタル証券)	0円 (0)
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合計	1円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものです。なお、費用項目については3ページの注記をご参照ください。
※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

●組入上位銘柄

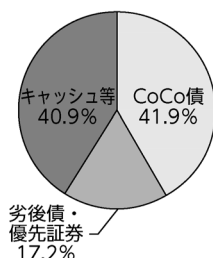
(組入銘柄数：36銘柄)

銘柄名	資産	国	通貨	比率(%)
CREDIT SUISSE GROUP AG	CoCo債	スイス	米ドル	4.7
ATHENE HOLDING LTD	優先証券	バミューダ	米ドル	3.7
DANSKE BANK A/S	CoCo債	デンマーク	米ドル	3.6
LLOYDS BANKING GROUP PLC	CoCo債	英国	米ドル	3.3
SOCIETE GENERALE	CoCo債	フランス	米ドル	2.6
WESTPAC BANKING CORP	CoCo債	オーストラリア	米ドル	2.5
GMAC CAPITAL TRUST I	優先証券	米国	米ドル	2.5
ROYAL BK OF SCOT GRP PLC	CoCo債	英国	米ドル	2.4
NORDEA BANK ABP	CoCo債	フィンランド	米ドル	2.3
UBS GROUP FUNDING SWITZE	CoCo債	スイス	米ドル	2.3

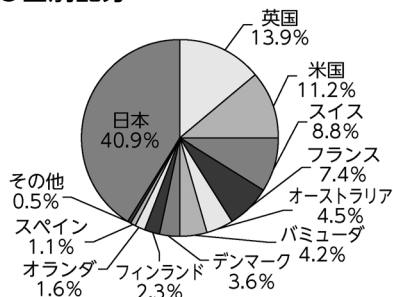
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

※全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

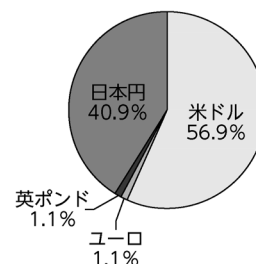
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。